

鉄筋コンクリート(2): 16年度 定期試験

出題の要点と範囲:

2004/07/12、吉川弘道

持込み可: 電卓、紅白の教科書、自筆ノート、Web 掲載資料&配布資料(ただし、きちんと綴じてあるもの)。

特に、教科書と Web 資料(授業のページ> 鉄筋コンクリート(2)> ホットコーナー)は、解答に必要となり、必ず試験に持参すること。

以下の5問を出題する。

1. 5章: 5-1 中心軸圧縮を受ける部材(教科書 p.77~82)

例題 5.2 を復習すること。

2. 5章: 5-3 軸力と曲げを受ける部材の終局耐力(教科書 p.87~90)

5-3-2 $\mu - N_u$ 破壊包絡線、および<例題 5.3>を復習すること。

3. 「2点集中荷重を受ける単純梁の耐荷機構」

上記の課題に関して、Web 資料から出題する。

4. 11章: 耐震設計

教科書の記述について、授業中に学習した内容。自筆ノートを必ず持参したほうがよい。

5. 11章: 耐震設計: スライド映写と Web 解説

阪神大震災時の震害: コンクリート構造物に関する被災の特徴(キーワードにて説明する)

注意: 例年、持込み資料だけを準備し、不十分な勉強にて苦杯をなめる学生が後を絶たない。出題内容を十分理解し、かつ迅速に処理できるように準備されたい。試験時間(60分)にて、要領よく解答する必要がある。

それでは、健闘を祈る!!